

総合型入試〔プレゼンテーション型〕【総合政策学部】について

Q 総合型入試〔プレゼンテーション型〕【総合政策学部】について教えてください。

A 総合政策学部では、南山大学の建学の理念に基づく「人間の尊厳のために」(Hominis Dignitati)という教育モットーを踏まえつつ、文明論と政策論を中心に修め、政策立案および運用において、幅広い視野と実践力を備えた、リーダーシップを持つ人材を育成します。総合型入試〔プレゼンテーション型〕【総合政策学部】においては、こうした実践的活動のリーダーを目指す受験生を、第1次審査では志望理由書、自己推薦書等の書類審査、第2次審査ではプレゼンテーション、口頭試問や小論文の審査を通じて評価します。この入試については、受験生の皆さんが本学部の教育目標やカリキュラムを十分に理解した上で志願されることを期待しています。

出願資格について（『総合型入試【総合政策学部】要項』4. 出願資格）

Q 外国人でも受験できますか。

A 出願資格を満たしていれば、受験することは可能です。

Q 社会人でも受験できますか。

A 受験に関して年齢の上限はありません。出願資格を満たしていれば、どなたでも受験することは可能です。

Q 総合型入試〔プレゼンテーション型〕について、【総合政策学部】と【国際教養学部】とは併願できますか。

A 第一次審査は併願は可能です。ただし、第二次審査はどちらかの学部を選択し、出願してください。また、総合型入試に合格後、別の入学試験で他学部・他学科を受験することも可能です。

Q 他大学との併願はできますか。

A 他大学との併願は可能です。本入試は併願可能型の入試です。

Q 出願する条件として、【調査書】の学習成績の状況の基準はないのでしょうか。

A 調査書の学習成績の状況については、出願基準としては設けていません。調査書と各審査の結果に基づき、総合的に合否を判定します。

Q 「留学やNGO・NPO活動、ボランティア活動や社会活動など、現場での実践的活動に積極的に取り組んできたもの」とありますが、どのようなものが出願資格に該当しますか。

A 活動の回数や期間等には特に条件はありません。
自分自身の意志で積極的に取り組んだ活動であること、
また、その活動をプレゼンテーションでいかにアピールできるかが大切です。

出願書類の準備について（『総合型入試【総合政策学部】要項』5. 出願書類）

Q 【志望理由書(所定用紙④)】にはどのようなことを書けばよいでしょうか。

A 出願資格2.を踏まえた上で本学部を志望する理由を記述して下さい。また、最も関心のある現代社会の問題について、その理由を含めて書いてください。

Q 【自己推薦書(所定用紙⑤)】にはどのようなことを書けばよいでしょうか。

A これまでに取り組んできた実践的活動について、そこから得られたことを含めアピールしてください。

Q 高校の推薦書の提出は必要ですか。

A 推薦書の提出は不要です。

Q 資格の証明書など、自己の能力を示す資料を提出することはできますか。

A 自己推薦書に関係する資料がある場合は、その写し（A4 サイズ）を第1次審査の出願時に併せて提出してください。

Q 途中まで日本の高校に通い、その後外国の高校に転入し卒業した場合、どのような書類を提出すればよいでしょうか。

A 複数の高校に在籍した場合は、転入学、退学等の年月日が記載された成績証明書を各高校から発行を受けて提出してください。成績証明書の提出が不可能な場合は、これに代わるものとして学期ごとの学業評価レポート等の写しを提出してください。

Q 外国の高校を卒業した場合、提出する書類で気をつけることはありますか。

A 書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳を作成し、翻訳の内容が原本と相違ないことを出身高校もしくは大使館等の公的機関で証明を受けた後、提出してください。なお、出願書類は、すべて原本（オリジナル）の提出が原則です。原本が1部しかない場合は、原本から正しく複製されたもの（certified copy）であることの証明を出身高校等から受けた後、提出してください。

出願書類の提出について（『総合型入試【総合政策学部】要項』7. 出願書類等の受付）

Q 出願はインターネットで行うのですか。

A この試験はインターネットを使用するWeb出願ではありません。必要書類を記入・準備の上、出願期間内に簡易書留速達郵便で提出してください。

審査内容について（『総合型入試【総合政策学部】要項』8. 審査および合格発表）

Q 第1次審査で合格した後、第2次審査の出願を取りやめることはできますか。

A 可能です。第2次審査の出願期間に手続きを行わなかった場合、出願を取りやめたものとみなします。

Q 第2次審査の小論文ではどのような能力が評価されますか。

A 課題文や図表等の資料を参照したうえで、各設問に対して指定された文字数（計1000～1200字程度）で論述してもらいます。つまり、文章やデータの読解力、それを論理的に説明する思考力や表現力が評価されます。

Q 第2次審査では、どのようなプレゼンテーションを行えばよいでしょうか。

A これまでに取り組んできた社会活動やボランティア活動などの実践的活動についてプレゼンテーションを行ってください。

Q プレゼンテーションの際に、パソコンを使ってもよいでしょうか。また、プロジェクターは用意してもらえますか。

A 発表用に、パソコン（Windows 内蔵）や一般的なプロジェクターなどはこちらで用意します。ただし、特別なパソコンやプレゼンテーションソフトを利用する場合は、機器等を自分で用意することになります。なお、発表のスタイル・機器については、第1次審査合格者に対し別途問い合わせます。

Q プレゼンテーションの順番はいつわかりますか。

A 10月11日（水）頃に本学Webページ「受験生の皆様」に掲載する「試験室・面接控室案内」で確認してください。

- Q プレゼンテーションは1人あたり10分とありますが、多少時間が延びてもよいのでしょうか。
A 審査の公平を期するために、定められた発表時間を守ってください。

Q 口頭試問ではどのようなことが質問されますか。

- A 口頭試問では、志望理由書、自己推薦書、およびプレゼンテーションの内容について掘り下げた質問を行います。

Q 外国語でプレゼンテーションを行ってもよいのでしょうか。

- A 英語は認めます。ただし、総合政策学部の総合型入試は基本的に日本語を母語とする受験生を対象とするものなので、志望理由書や自己推薦書は日本語のみの記載としています。いずれにしても、書類審査とプレゼンテーションはその内容によって評価しますので、英語でのプレゼンテーションが必ずしも評価が高くなるということはありません。

その他の質問

Q 昨年度（2023年度）の入試結果を教えてください。

- A 入試結果は以下の通りです。

	志願者数	合格者数
1次審査	51	31
2次審査	28	15

Q 総合型入試〔プレゼンテーション型〕【総合政策学部】で不合格になった場合でも、南山大学の学校推薦型選抜や一般選抜を受けられますか。

- A 不合格になった場合でも、本学の学校推薦型選抜や一般選抜（他学部を含む）を受けることができます。その際、この試験を受験したことは有利にも不利にも働きません。

Q 入学手続きの延期はできますか。

- A 入学手続きの延期はできません。所定の期間に手続きを行わない場合、入学の意思がないものとみなします。

Q 総合型入試〔プレゼンテーション型〕【総合政策学部】に合格し入学手続きをした後、南山大学の他の学科に合格した場合、学科を変更することができますか。

- A 学科を変更することは可能です。新たに合格した学科の入学手続き時に、所定の手続きを行ってください。